

R4年度の居場所の活動

ゆいゆい2階で週に3回開いてきた不登校の居場所“ゆいゆい”。5年継続しました。子どもたちが安心して過ごし、充電できる場所であるとともに、一人ひとりの状況、ニーズに合わせて、次のステップにつなげていく場所として運営してきました。皆様には多くのご参加、ご支援をいただきありがとうございました。

居場所の運営

開所日数 133日
のべ利用者数 300人
平均 2.18人/日

疲れたときは休む、安心できる場所であることはもちろん、個々の状況に合わせて、必要に応じて学校とや他機関と連携し、橋渡しを行ってきました。

親の会 10回 のべ32人
親父の会・親子交流イベント
4回 5家族 のべ33人

定期的で開催している親の会、親父の会の他に、親子で参加するイベントも開催。利用者の家族の交流も深まりました。

支援者連絡会 6回開催
1校5団体 のべ57人参加

他機関と情報共有の場として、事例検討、意見交換を行い、地域の中で共に子どもを見守る土台作りをしてきました。

不登校を考える
3回連続シリーズ公開講座開催
のべ105人参加

不登校・ひきこもり経験者や、講師、保護者、支援者の方々にご登壇いただき、地域の方が不登校の現状を知り、支援の輪を広げるきっかけとなる有意義な会となりました。

子どもの居場所ゆいゆい
開所 / 月・火・木曜日
9:30~15:00
利用料 / 1回300円

来年度についての詳細は
ホームページに情報を
掲載しますのでご確認ください。



google
Mapは
こちら



特定非営利活動法人ウイズアイ

不登校の子どものための居場所“ゆいゆい”

季刊 居場所だより

1P イベント開催報告
2.3P 居場所紹介
4P R4年度活動報告

子どもの居場所ゆいゆいは
子どもの安心を支え、
学校・家庭をコーディネートして
次のステップにつなげて成長していく場所です

第2回「不登校臨床の再構築を目指して」

11月13日 ころぼっくるホールにて開催

第1部 講演会

講師 藤岡 孝志 氏 (日本社会事業大学 教授)

第2部 当事者の話を聞く

日本社会事業大学2年在学 一条海斗氏

参加者 34名



居場所を見つけられていない時期は、気持ちが向かないこともあるけれど、「やりたい」と思ったことをやらせてあげる環境があれば、子どもも前を向いていけるようになる。

子どもたちを取り巻く関係者への支援が、子どもたちを暖かく包む環境になる。基本的に、どこにしようが、子どもたちが幸せであればよい。

ゴールが学校ではないかもしれないけど、殻にこもっているところから、外に心の扉があくのではないかな。

子どもたちがよりよい形でその子らしく過ごせている場所を確保するのが、不登校支援の根幹。

※参加者アンケートより

不登校を
考えよう!

不登校を考える
3回連続シリーズ
公開講座

ご報告

詳細は
ホームページに
掲載中!



第3回 シンポジウム「地域で支えるために」

1月21日 ころぼっくるホールにて開催

進行:原田和幸氏(目白大学准教授)

登壇者:菊地俊一氏(清瀬第六小学校校長)

猪野直美氏(保護者)

小野伶将氏(東洋大学社会学部社会学科3年)

参加者 45名

参加者の声

これからの学校の在り方も変わっていかねばいけない。他の地域状況から変えていけるのか可能性を考えました。

一人でも味方のいる学校に、何ができるか考える機会になりました。

同じ境遇の方の話をきき、勇気づけられました。

人との出会いでそれが支えになって前へすすんでいける事が分かり、支援の場が広がっていけばうれしいなあと思います。

※参加者アンケートより

たくさんの方のご来場
ありがとうございました!



特定非営利活動法人 ウイズアイ

〒204-0024 東京都清瀬市梅園2-2-29

☎ 042-452-9765(代) FAX 042-497-2308

詳しくは
ウイズアイHPへ!

不登校の子どもの居場所「みんなのおうち ゆいゆい」

☎ 070-3827-8612 子どもの居場所専用 平日9時00分~16時

✉ ibasyo@with-ai.net ←各種お問い合わせ、お申し込みは居場所メールへ!

